

鞍掛山麓千枚田保存会(愛知県新城市)

～ ぐたびれたら おいでん 癒されるに ～



棚田の風景「四谷千枚田」



地元小学校の野外学習



収穫感謝祭の様子

▼ 該当カテゴリー ▼

環境保全・景観保全

企業との連携

教育機関との連携



問合せ先
〒441-1942
愛知県新城市四谷59
tel 090-6586-4665
fax 0536-35-0747
mail s-koyama@tees.jp

概要

- 自然豊かな景観と生物多様性に富んだ「四谷の千枚田」は、H22年に名古屋で開催された生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)の誘致に貢献。
- 地域の教育機関と連携した農業体験学習や、企業と連携した社員研修・ボランティア活動を積極的に受け入れ。

成果

- 棚田の見学・訪問者は、1.5万人から2.5万人に増加(H26～H30)。
- COP10を機に、ベトナム、中国など海外から中山間地の米作りに関する農業視察が増加。

西尾南部ベイエリア協議会(愛知県西尾市)

～ それぞれの輝きから、大きな輝きへ ～



日本語版、英語版のパンフレット作成



高校生等の協力により新メニュー開発



地元大学生の協力により体験プログラム開発

▼ 該当カテゴリー ▼

農泊

農林漁業・農村文化体験

教育機関との連携



問合せ先
〒444-0424
愛知県西尾市一色町小藪船江東176
tel 0563-72-9607
fax 0563-72-3502
mail sakushima@city.nishio.lg.jp

概要

- 地域の大学と連携し、「うなぎの蒲焼き体験」などの体験プログラムを開発。また、地域の高校及び企業と連携し、うなぎを使用した新商品を開発。
- 日本語版と英語版のパンフレットやポスターの作成・配布、SNSで動画を配信するなど、国内外へ積極的にPRを実施。

成果

- 体験プログラムやレストラン等の売上高は約1.5億円(H30)、宿泊者数は9,000人(H30)。
- 地元高校やカフェ等の協力により、うなぎドーナツ、うなぎ春巻き等の特産品を開発。

【団体 ビジネス部門】

ミナミ産業株式会社(三重県四日市市)

～ 世界に日本の豆腐を広げるプロジェクト ～



海外採用事例(自家製豆腐作り)



海外展示会 NYセミナーの様子



にがり農法による大豆栽培風景

▼ 該当カテゴリー ▼

食育・教育

輸出

企業との連携



問合せ先
〒511-0025
三重県四日市市東新町3
tel 059-331-2158
fax 059-331-7324
mail info@minamisangyo.com

概要

- 農研機構などと連携し、高機能性大豆「ななほまれ」の研究を行い、高付加価値大豆の普及を図る。
- 大豆製品の海外販路開拓事業に取り組み、海外28ヶ国へ輸出。また海外で食育イベント等も実施。

成果

- 国産大豆製品の輸出額は、約3,600万円から5,100万円に増加(H26～H30)した他、大豆栽培面積は160ha(H30)まで拡大。
- 「おからの出ない大豆丸ごと豆腐技術」を開発し、当該技術を活用した新規開業支援に取り組み、65店舗の新規開業に貢献。

【個人部門】

大島 光利(岐阜県恵那市)

～ 皆でやろまいか!リフォーム塾と里山づくり ～



古民家リフォーム塾・第一号物件「田舎暮らし体験館結の炭家」
(本人:左下写真)



古民家リフォーム塾・床の張替え作業



里山づくり活動・施業技術講習会の様子

▼ 該当カテゴリー ▼

環境保全・景観保全

移住・定住



問合せ先
〒509-7831
岐阜県恵那市串原827
tel 0573-52-2217
fax 0573-52-2808
mail ohshima@iwakura.enat.jp

概要

- 過疎化に伴い増加する空き家を改修して、移住・定住を促進する古民家リフォームの取り組みに従事。
- 移住者や林業技術者などとともに、継続的な森林整備や担い手づくりを目的とした里山づくりにも従事。

成果

- H23年以降、28軒の空き家を改修し、70人の移住者を受け入れた(R1年7月現在)。
- 里山づくりには年間2～300人程度の参加者があり、H26年以降、57haの森林整備を実施。

北川 静子(三重県多気郡多気町)

～ 小さな農村文化継承者 ～



地元の子もたちからのつきの買い取りは15年続く(本人:右上写真)



地域内外の児童が親子で学ぶ食育



見せ方、伝え方にもあえてひと手間ひと工夫

▼ 該当カテゴリー ▼

農泊

農林漁業・農村文化体験

食育・教育



問合せ先
〒519-2211
三重県多気郡多気町丹生5643
tel 0598-49-4300
fax 0598-49-4300
mail mameya@ma.mctv.ne.jp

概要

- 高齢化や後継者不足の中、農村で生まれる産物・豊かな文化・お年寄りの持つ技術を活かそうと地元女性と共に有限会社を設立。
- 農家レストラン、加工所などで地元農産物を使用した料理や商品を生産するほか、大豆などを使った料理体験などを通じ、農村の文化や技術を伝承。

成果

- 農家レストランへの来場者数は年間9.5万人(H30)。農産物を納品する生産者は130人から165人に増加(H26～H30)。
- 地元の農産物買上額や、地元雇用の人件費等の地元への貢献金額は6,000万円(H30)であり、地域に貢献。

有限会社萬里 飛騨えごま本舗(岐阜県高山市)

～ 飛騨えごまの全国ブランド化で地域活性! ～



主力製品の飛騨生搾りえごま油と飛騨えごま実



障がい者施設との連携



飛騨高山で唯一、HACCP導入認定の搾油所

▼ 該当カテゴリー ▼

伝統の継承

農福連携

高齢者の活躍



問合せ先
〒506-0825
岐阜県高山市石浦町7-586
tel 0577-57-7801
fax 0577-57-7802
mail info@hidaegoma.jp

概要

- 飛騨の伝統食である飛騨えごまを全国ブランドとして展開し、完全受注生産により新鮮な搾りたてえごま油を提供。
- 飛騨全域の飛騨えごま栽培農家・面積の増加を目指す「飛騨えごまバレー構想」で地域活性化に取り組む。

成果

- 飛騨えごま商品の売上は、160万円から2000万円に増加(H27～H30)。リピーター購入率が高く、新規注文を制限するほどの人気。
- 取引するえごま栽培農家は、4軒から79軒に増加(H27～H30)、飛騨えごま取扱量も190kgから2,000kgに増加(H27～H30)。

【団体部門】

株式会社飛驒の森でクマは踊る(岐阜県飛騨市)

～ 小径広葉樹の新たな価値の創造へ ～



チップになる小径広葉樹から作ったスツール



海外大学のものづくり合宿(インバウンド)



木工体験ワークショップ

▼ 該当カテゴリー ▼

農泊

農林漁業、農村文化体験

6次産業化



岐阜県
飛騨市

問合せ先
〒509-4235
岐阜県飛騨市古川町式之町6-17
tel 0577-57-7686
fax 0577-57-7687
mail info@hidakuma.com

概要

- チップとなって安価で飛騨市外に流出していた小径の広葉樹を使った家具、什器、内装材等の商品を開発・販売。
- これまで地域になかった森林・木材に関する体験ツアーを企画・実施。また、海外の建築家を目指す学生等に学びの場を提供。

成果

- 木製品等の売上は430万円から約4,100万円(H27～H30)に増加。
- これまでに開催した体験プログラムの参加者は、延べ約3,000人、宿泊者は延べ約1,000人。海外からはこれまでに約15か国、延べ約300人が滞在。

【団体部門】

株式会社デイリーファーム(愛知県常滑市)

～ たまごの魅力で地域を圧倒的な観光地に!! ～



たまごをたっぷり使用した手作り人気スイーツ



地元の学校での食育活動



ココテラスの試食を兼ねた消費者との交流会

▼ 該当カテゴリー ▼

農林漁村、農村文化体験

食育・教育

6次産業化



愛知県
常滑市

問合せ先
〒479-0806
愛知県常滑市大谷字芦狭間5
tel 0569-37-0072
fax 0569-37-0256
mail a.ichita@dailyfarm.co.jp

概要

- 養鶏場として大正より営業。H27年6月から洋菓子店(ココテラス)を開店し、たまごの直売と加工品を販売。
- さらなる卵の可能性を消費者に提供するため、H30年6月に国家戦略特区を活用して、農家レストラン「レシビヲ」をオープン。

成果

- 洋菓子店「ココテラス」の売上は約1億2,400万円(H30)、農家レストラン「レシビヲ」はオープン4か月で約2,200万円を売上。
- 来客数は年間約13万人(H30)で、遠方からのファンも多く、知多半島の観光誘客に貢献。